

## 1. 教育計画

## 看護の統合と実践

分野	統合分野 看護の統合と実践	科目名	看護技術総合学習
単位・時間	1単位・30時間	対象学年	4年生
方法	講義、演習、グループワーク	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 古川淳子・結城利佳・横田幸恵 (28時間)		
講師の実務経験	古川：看護師として星総合病院に19年 結城：看護師として星総合病院に5年 横田：看護師として星総合病院に15年		
学習目標	安全で的確な看護行為の実践に向けて、手技的・身体的技能、知的技能、社会的・人間的技能を統合化させ看護実践力を高めることができる。		
成績評価方法	筆記試験。課題や演習態度も評価に含める。		
使用テキスト	看護がみえる Vol.2 臨床看護技術 MEDIC MEDIA フィジカルアセスメント パーフェクト臨床実習ガイド 成人看護Ⅰ急性期・周手術期 照林社 看護過程に沿った 対症看護 病態生理と看護のポイント 第5版 Gakken		
参考文献	系統看護学講座 成人看護学【5】 消化器		
履修上の留意	事前学習を行った上で授業を受けてください。 出席状況および演習態度も評価します。		
講師からの メッセージ	医療機器やモデル人形を用いて臨床看護技術のトレーニングに取り組みます。臨床場面をリアルに再現し実践を想定した体験型学習を展開します。これまで学んだ知識・技術を統合して看護実践します。 「五感を研ぎ澄まし、アセスメントしながら行動できる」を目指します。		

## 2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	解剖生理、病態①	科目のオリエンテーション 胃の解剖生理、病態について 代償反応について	講義	古川
2	2	解剖生理、病態②	出血性胃潰瘍患者のアセスメント	個人 GW	古川
3	2	看護技術演習①	ショックの状態観察に必要なバイタルアセスメント	講義 演習	古川
4	2	看護技術演習②	静脈血採血、血管確保 輸液ポンプ・シリンジポンプの操作	演習	
5	2	看護技術演習③	胃チューブ・膀胱留置カテーテル挿入	演習	
6	2	看護技術演習④	口・鼻腔・気管内吸引・酸素吸入	演習	

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
7	2	多職種連携教育	多職種による退院カンファレンスの実際 急性心筋梗塞患者の診療場面の見学	GW 演習	古川 結城 横田
8	2	急変時の対応	SBARとは、気管内挿管	講義	
9 10	4	シミュレーション学 習① *シミュレーション	症例展開：出血性ショックを呈した患者の看護 ・吐血時の看護、フィズ加アキシット、SBAR、(輸液ポンプ、酸素投与、採血、膀胱留置カテーテル、心電図モニター)	講義 演習	
11 12	4	シミュレーション学 習② *シミュレーション	症例展開：出血性ショックを呈した患者の看護 ・吐血時の看護、フィズ加アキシット(吸引、挿管準備、輸液ポンプ)	講義 演習	
13 14	4	多職種連携教育 *シミュレーション	多職種連携における急変時対応の実際 症例展開：急性心筋梗塞を呈した患者の対応	講義 演習	古川 結城 横田
15	2	評価	筆記試験		古川